

第3分科会：社会・観光・文化

観光産業におけるXMLの適用について

浦山 重 郎（中央大学）

1. 観光振興の方向

- 1) 観光消費の経済効果は国内生産総額の5.4%：48.8兆円（H14）
- 2) 平成11年観光政策審議会諮問「21世紀初頭の観光振興方策について」→ 12年12月答申「自立した個人がいきいきとした暮らしを実現していく上で観光の果たす役割は大きく、観光振興を国づくりの柱とすべし。」
- 3) 余暇活動の潜在需要に関するアンケート調査で、国民の参加率が59%に達しているのに、なお潜在需要は18%有り、特に海外旅行の潜在需要はその倍の34.3%に達している。

2. 観光振興のためのITの活用（1）

- 1) 最も注目を集めている情報技術が「XML（Extensible Markup Language）」と称される記述言語および「Web Services」。
- 2) 従来のWebサイトは「人」が利用者であるのに対して、このWeb Servicesは人に代わって「オープンで再利用が可能なソフトウェア」が利用者となり、検索やシステム間の接続を進めるもの、すなわちコンピュータシステムにより膨大なサービス登録情報から最適な内容を検索することが可能。
- 3) このWebサービスの基幹となっている記述言語はXMLである。すなわちXMLはWeb上で情報（構造化文書）を発信するための言語のことで、HTMLと同様にタグとテキストで構成されているが、XMLでは自らの目的に応じて

タグを定義できる。

3. 観光振興のためのITの活用（2）

- 1) XML記述言語とその周辺技術は「Web Services」の範囲にとどまらず、更に広く応用検討が進められている。
- 2) この推移で見るように、単なるデータのやりとりの電子情報化だけではなく、インターネットを幹線としてビジネスプロセス自体をIT化する方向に進展させている。
- 3) HTML（Hyper Text Markup Language）は、人がその文書内容を良く理解できるよう表示するためにタグを挿入する形式としている。これは人の判断を通さずに受信側のコンピュータがその受信した文書の中から必要な事項を探して処理を行うようにする場合では現行方式では正確に文章内容を分析することができないという問題点がある。XMLでは、マークアップとしてのタグを表示のためのものではなく、文章の内容を明確にするために挿入する形にしており、タグの名前も自由に定義できるようにしている。また、文章構成をTree構造とし、コンピュータが受信内容を分析して正確に処理することを可能とし、Webを利用した各種サービス適用に適したものとなっている。

XMLデータとHTMLデータの比較

- 1) 図3に対応するXMLデータはXMLの特徴であるタグの定義によってコースリストの下に食事のコースとエステコースの2つが有り、単純

にタグを検索することで「松コース」、「竹コース」、「梅コース」の他に「団体用」が存在する事を「ソフト」は明確に判断する事ができ、検索ソフトがエステの「標準コース」を「食事コース」と見違える恐れは全く生じない。

2) 図1に相当するHTMLデータが図2であるが、Web検索を「人」ではなく「ソフト」が行う場合には図2のデータを対象にしてデータ

構成や単語を基に検索することとなる。このようなHTMLデータから適当な食事コースを検索で抽出しようとするコースとか食事などをキーとする事となるが、松コース、竹コース、梅コースの三種は発見されずとしても直接の値段は言っていない「団体用」の割引情報は検索にかからない可能性が有る。

図1 Webブラウザ表示例

お食事コース	値段
松コース	1,500円
竹コース	2,500円
梅コース	3,500円
団体用	上記の20%引き

エステコース	値段
朝食前コース	3,000円
標準コース	10,000円
念入りコース	20,000円

図2 HTMLデータ

```
<html>
<body>
<table border=1>
<tr> <td> お食事コース <td>   値段 <td> <tr>
<tr> <td> 松コース <td>       1500円 <td> <tr>
<tr> <td> 竹コース <td>       2500円 <td> <tr>
<tr> <td> 梅コース <td>       3500円 <td> <tr>
<tr> <td> 団体用 <td>         上記の20%引き
</td> </tr>
</table>
<BR>
<table border=1>
<tr> <td> エステコース<td>   値段 <td> <tr>
<tr> <td> 朝食前コース<td>     3000円 <td> <tr>
<tr> <td> 標準コース<td>      10000円 <td> <tr>
<tr> <td> 念入りコース<td>    20000円
</td> </tr>
</table>
</body>
</html>
```

図3 XMLデータ

```
<コースリスト>
<コース>
  <食事>
    <名称>松コース</名称>
    <値段>1500</値段>
  </食事>
  <食事>
    <名称>竹コース</名称>
    <値段>2500</値段>
  </食事>
  <食事>
    <名称>梅コース</名称>
    <値段>3500</値段>
  </食事>
  <食事>
    <名称>団体用</名称>
    <値段>上記の20%引き</値段>
  </食事>
</コース>
<コース>
  <エステ>
    <名称>朝食前コース</名称>
    <値段>3000</値段>
  </エステ>
  <エステ>
    <名称>標準コース</名称>
    <値段>10000</値段>
  </エステ>
  <エステ>
    <名称>念入りコース</名称>
    <値段>20000</値段>
  </エステ>
</コース>
</コースリスト>
```